

エックス線安全教育に関するアンケートへのご協力をお願い

令和3年5月に、兵庫県にある工場において、エックス線装置を点検中の作業者が被ばくする事故が発生しました。厚生労働省は、直後に、被ばく防止の徹底に関する注意喚起を行い、令和6年度には、「エックス線装置に係る放射線障害防止対策に関する検討会」を設置し今後の対策を検討するとともに、厚生労働省補助金事業「エックス線作業主任者等に対する効果的な教育に関する研究」を実施しています。

この補助金事業では、日本保健物理学会のメンバー（代表者：量子科学技術研究開発機構）が中心となり、関連学協会、諸機関及び関連業界等との協力の下で、非破壊検査業におけるエックス線作業主任者の安全衛生に係わる能力向上に関する教育及び作業者の放射線防護措置対策に係わる調査を行っております。

長年、「エックス線作業主任者受験講習会」の開催及び関連テキストの発刊を行っている当財団では、このような動向の重要性を鑑み、上記補助金事業へ協力してきております。

つきましては、エックス線作業に係わっておられる皆さまに、web アンケートに回答して頂きたく、ご案内させていただきます。事業の概要と QR コード等は次項をご覧くださいか、或いは、直接 <https://ans.i-enquete.jp/houshasenkango/> よりお願い致します。

この調査・検討結果が、今後の被ばく事故防止に繋がるものと信じております。何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

アンケートへのご協力をお願い

厚生労働省補助金事業研究では、エックス線機器に係る安全教育について、皆様の声をお聞きしたいと考えております。

つきましては、ご多忙の折大変恐縮ではございますが、エックス線安全に関する率直なご意見をお聞かせいただきたく、アンケートのご協力をお願い申し上げます。

なお、ご回答いただく項目には個人・御社が特定される内容は含まれておりません。



<https://ans.i-enquete.jp/houshasenkango/>

研究のご紹介

目的

- ・ 製造業、非破壊検査業におけるエックス線作業主任者の安全衛生に係る能力向上に関する教育及び作業者の放射線防護措置対策に係る調査
- ・ エックス線作業主任者等への効果的な教育・定期講習の内容や実施頻度等を検討

研究計画

(調査①) 能力向上に向けた取組み状況調査

- ・ 業界団体を通じたアンケート調査
- ・ 選定された事業場でのヒアリング
- ・ RI規制法放射線作業主任者の定期講習等の制度調査
- 能力向上への取組みの現状及び放射線防護対策の現状把握

(調査②) エックス線場の特徴の把握

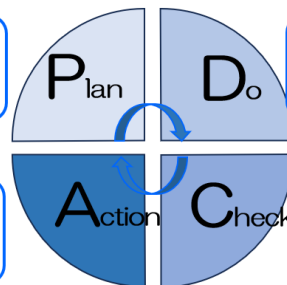
- ・ 事業場の作業環境の線量率測定
- ・ 散乱エックス線のエネルギー分布測定
- ・ 計算シミュレーションによる被ばく線量評価
- エックス線場の特徴の把握、事故時の被ばく線量推定

(開発③) 効果的な教育訓練・講習パッケージの開発

- ・ 調査①及び調査②の分析結果を反映させ、多種多様なエックス線装置・作業に対応できるよう、効果的な教育・講習内容を構築
- ・ IAEAの提唱するグレーテッドアプローチ手法を適用
- ・ 事業場の事情に応じて自由に選択
- ・ 多くの事業場で実施可能な、導入負荷の小さいものを目指す

教育内容・講習
(実施頻度も含めた)の提案

教育訓練内容・
講習内容の修正案の検討



学会・業界団体を通じた事業場や講習会での試行

講習会でのアンケート回答等の定量的な評価

期待される成果

- ・ エックス線作業主任者・作業員への実効性ある教育・講習の提案
- ・ 製造業、非破壊検査業における放射線業務従事者への適切な被ばく管理への提言
- ・ IAEA技術文書等への参照による、我が国を含めた各国規制及び施策への反映